

香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）

1 はじめに

香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、香取市人口ビジョンを踏まえ、香取市の「まち・ひと・しごとの創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめるものです。

この素案は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、香取市総合計画後期基本計画に基づいて策定するものであり、確定版については、素案をもとに、産官学労言等の多様な意見を反映するとともに、千葉県の実合戦略も勘案の上、本年 12 月までに策定します。

2 対象期間

総合戦略の対象期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

3 策定にあたっての基本的視点

総合戦略の策定にあたっては、香取市人口ビジョンを踏まえ、次の 3 つを基本的視点としています。

(1) 東京圏や近郊都市への人口流出に歯止めをかける

「しごとの創生」と「ひとの創生」の好循環をつくり、香取市に住み、働き、豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる環境を実現する。

(2) 若い世代の就労と、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する

人口減少を克服し、若い世代が安心して働き、希望どおり結婚し、子育てができるような社会経済環境を実現する。

(3) 地域の特性に即して地域課題を解決する。

人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、地域が直面する課題を解決し、地域において心豊かな生活を確保する。

4 基本目標

国の総合戦略が定める政策分野を勘案し、香取市の実情に合わせた 4 つの基本目標を設定するとともに、基本目標ごとの 5 年後の成果指標を次のように設定します。

(1) 地域における安定した雇用を創出

成果指標：雇用創出数を増やす 5 年間の累計 ○○人

(2) 定住と香取市への交流・移住を促進

成果指標：住みたいと思う市民の率を高める ○○%

(平成26年度実績 60.5%)

成果指標：年間観光入込客を増やす ○○○人

(平成26年度実績 ○○○万人)

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる環境の整備

成果指標：婚姻率の向上 平成31年度の婚姻率○○%

(平成26年度実績○○%)

成果指標：出生率の向上 平成31年度の合計特殊出生率 ○○%

(平成26年度実績○○%)

(4) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を促進

成果指標：住みたいと思う市民の率を高める ○○%増加

(平成26年度実績○○%)

成果指標：○○満足度の向上

(平成26年度実績○○%)

5 施策目標設定と施策検証の枠組み

- 施策の基本目標については、香取市人口ビジョンを踏まえ、国の総合戦略における政策4分野ごとに、実現すべき成果（アウトカム）を重視した数値目標を設定する。
- 国の政策分野ごとに、講ずべき施策の基本的方向と具体的な施策を盛り込み、具体的な施策ごとに客観的な重要業績評価指標（KPI）を設定する。
- 設定した数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を外部有識者等の参画により検証し、必要に応じて香取市まち・ひち・しごと創生総合戦略の改訂を行うことにより、PDCAサイクルを確立する。基本目標を達成するために、取り組む施策の基本的方向と主な事業、及びその重要業績評価指標（KPI）を次のとおり設定します。

6 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（1）地域における安定した雇用を創出

《基本的方向》

○豊かさを実感でき、活力ある産業を育むまちづくり

基幹産業である農業や、多様な地域資源を活用した観光など、香取市の強みを活かしながら、実際にそれぞれの産業に携わっている事業者が真に豊かさを実感できる、活力ある産業を育てていきます。また、企業の誘致や創業支援に産官学金連携で取り組みます。

○魅力ある農林畜産業の実現

担い手、後継者の育成・確保し、生産販売体制の整備や農畜産物のブランド化及び販路の拡大を推進し、収益性の高い農業経営を確立するための支援を行い、活力に満ち、魅力ある農林畜産業の実現に取り組みます。

○地域経済へ貢献する企業誘致による市民の雇用、経済発展の基盤の整備
市内での求人が増え、若者から高齢者まで働く意欲のある人に就業の機会が等しく提供され、働きやすい環境のまちを目指します。

◎農林畜産業の担い手・後継者の育成やブランド化と販路の拡大

《平成 31 年度評価指標》

- 認定農業者数 ○○人（平成 25 年度実績 265 人）
- 集落営農組織数 ○○組織（平成 25 年度実績 23 組織）
- 香取ブランド認定数 ○○品（平成 25 年度実績 9 品）

（取り組み内容）

① 農業後継者新規就農助成事業（先行型）

市の基幹産業である農業の維持のため、農業後継者の確保及び新規就農者の営農意欲向上を図り、農業経営体育成セミナーの受講を促進するとともに、新規参入者への支援を行う。

② 香取の農産物広報宣伝活動事業（先行型）

市内農産物の安心・安全性を理解してもらい、産地の知名度を向上させ、市内農産物のブランド化・販路拡大を図るため、残留農薬検査の実施費用の補助（3 分の 2）を行うとともに、農産物 PR イベント等を実施する。

③ 農業利用集積円滑化事業

市が農地利用集積円滑化団体として、経営規模の拡大を希望する農家の間に

入り、農地の利用調整を行う。また、安定的な農業経営の育成を図るため、農業制度資金の融資支援として、相談窓口を設置し、資金融資と利子補給を行う。

◎企業誘致や創業等への支援

《平成 31 年度評価指標》

- 企業誘致件数 ○○社（5 年間の誘致件数）
- 平成 31 年度の商業従事者数 ○○人（平成 年度実績 人）
- 平成 31 年度の製造業従事者数 ○○人（平成 25 年度実績 2,548 人）
- 新規開業者数 ○○件（5 年間の累計）

（取り組み内容）

①企業誘致事業（先行型）

産業の振興及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致戦略等の検討、誘致対象地の調査、HPでの広報、情報収集、企業訪問等の誘致活動を推進し、立地企業に対して、立地奨励金・雇用促進奨励金の交付をはじめ支援を行うことにより、企業誘致を推進する。

② 空き店舗対策事業

既存商店街の空洞化を抑制し、商業の振興を図り、活力と魅力のある商店街づくりを推進するため、空き店舗を利用して開業し、1年以上継続して営業した事業主を対象に、店舗の改装に係る経費及び出店月から12カ月分の家賃に対し、補助金を交付する。

③（新）中小企業の新規開業資金への支援の実施

○○・・・・・・・・

◎中小企業の活性化支援や商業団体の育成、支援

《平成 31 年度評価指標》

- 平成 31 年度の年間商品販売額 ○○億円（平成 年度実績 億円）

（取り組み内容）

① 地域消費喚起・生活支援事業（先行型）

既存商店街のにぎわいと活力の創造し、地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券を発行する。

② 商業活性化支援事業

イベントの開催の補助など既存商店街の活性化に向けた活動の支援として、商店街の活性化のために各団体が実施するイベントを支援。

「地域ぐるみで文化活動に取り組むまち」として、TMOである佐原商工会議所がまちづくり団体と連携し、文化空間創出事業及び軒先コンサート等イベントの実施について支援。

③ 中小企業者の経営体質の強化

中小企業の経営の安定を図るため低利融資の実施及び利子補給・保証料の補助。

中小企業従業員の生活の安定、厚生のために必要な資金の融資を行い、中小企業従業員の福祉の向上を図る。

◎新たな就業の支援

《平成 31 年度評価指標》

(新) ○○

(2) 定住と香取市への交流・移住を促進

《基本的方向》

○定住・移住推進体制の整備

魅力あるまちづくりを推進することにより、定住人口の減少を食い止めるとともに、交流人口の増大を図り、移住へとつながるような情報発信や支援を行い、新しい人の流れを創出する。

○観光資源の活用による情報発信及び新たな交流・集客の促進

地域に潜在する新たな観光資源を発掘し、既存の観光資源と組み合わせ、有効活用を図るとともに、おもてなしの心による心の観光を推進することで、人々が集い、交流し、にぎわいのあるまちを目指します。

○教育・文化の推進

地域の自然、歴史、文化的環境など、地域の特性を題材とした教育を推進し、郷土に誇りを持ち、香取市に住みたいという意識を高めるため、祭礼や地域伝統芸能の保存・伝承への積極的な参加を促し、「歴史と文化に包まれて、心豊かな人を育むまちづくり」に取り組みます。

◎住環境面からの定住・移住推進体制の整備

《平成 31 年度評価指標》

■空き家バンクシステムを通じた物件の斡旋件数 ○○件（5 か年度の累計）

（取り組み内容）

①空き家バンク事業（先行型）

市内の空き家を有効活用し、定住促進による地域の活性化を図ることを目的として、いわゆる空き家バンクシステムを構築し、効果的な定住誘導策に取り組みます。

◎特色ある学校教育の推進

《平成 31 年度評価指標》

■住みたいと思う回答率 50%（平成 26 年度の実績 41.6%）

※「香取市高校生アンケート」において、「住みたい」または「進学等で一度転出しても戻ってきたい」と回答した率の合計

（取り組み内容）

① 地域特性活用教育推進事業（拡充）

地域の自然、歴史、文化的環境など、地域の特性を題材とした教育を推進し、歴史や文化に触れ、郷土に誇り持つことで、香取市に住みたいという意識

を育む教育を推進する。

◎観光資源の連携による回遊性の向上及び中心市街地の活性化

《平成 31 年度評価指標》

- 平均旅行消費額 〇〇円（平成 25 年度実績 5,525 円）
 - ホームページアクセス件数 〇〇件（平成 26 年度実績 〇〇件）
 - 観光施設外国人年間入込数 〇〇人（平成 26 年度実績 人）
- ※佐原山車会館及び佐原町並み交流館への入込数の合計

（取り組み内容）

①水郷佐原水生植物園再整備事業

水郷佐原水生植物園の集客力の減少及び施設の老朽化のため、魅力ある施設として再整備を行うため、水生植物園の再整備計画に基づき、敷地面積を拡張し、管理棟などの施設の新設、ほ場の整備、回遊動線の改修などを行う。

②観光情報発信事業（先行型）

観光協会等と連携し、観光宣伝掲載、テレビ広告、ラジオスポット CM 及び観光専用ホームページなどで積極的な情報発信を行うとともに、香取ファンクラブ運営事業、プロモーションビデオの作成、電子看板システムの運営を行い、効果的な観光情報の発信を図る。

③外国人観光客誘致事業（先行型）

成田空港や首都東京から近いという立地条件を活かし、外国人観光客の誘客事業を推進し、市内に外国人観光客を誘客する。

- ・外国語版観光ガイドブックの作成
- ・無線 LAN 構築
- ・（新）多言語表記のサイン表示の整備

④佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業

商業機能や公共・公益施設等の生活サービス機能の集積した市街地の活性化を一体的に推し進め、市内・市外から人を集め、中心市街地に賑わいを創出するとともに、高齢者から子ども達までが、まちなかに安心して楽しく住み続けることのできるまちを実現することを目的とし、新たに複合的な施設を整備する。

⑤街なみ環境整備事業

重要伝統的建造物群保存地区及び景観形成地区内における良好な景観と住環境の向上を図るため、公共施設、公共空間及び歴史的建造物等の修景及び整備を行う。

◎新たな都市と農村交流の潮流を創出

《平成 31 年度評価指標》

■○○・・・・

(取り組み内容)

① 香取のふるさとまつり事業

11 月に旧市町ごとに開催されているイベントを「香取のふるさとまつり」と位置づけ、香取市全体として農産物・特産品や文化資源などの魅力を市内外に発信する。

② ふるさと農園運営事業

都市住民等に貸し出す「山田ふるさと農園」及び「紅小町の郷ふれあい農園」の管理及び運営を行う。

③ 滞在型市民農園運営事業

滞在型市民農園「クラインガルテン栗源」の維持管理及び運営を行う。

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

《基本的方向》

○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実

若い世代が希望どおりに結婚し子どもが持てるように、結婚から子育てに至るまで切れ目のない一貫した支援を充実するとともに、家庭、地域、保育所、幼稚園などの幅広い連携を一層図り、子育て家庭を地域全体で支え合い、市民が安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。

○男女共同参画社会づくりの推進

男女が個性や能力に応じてあらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画の意識づくりや、固定的性別役割分担意識の解消を図るための教育・啓発を進めます。また、男女が共に仕事と家庭、子育て、地域活動などを両立できるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを推進します。

◎子育て家庭への経済的負担の軽減

《平成 31 年度評価指標》

■不妊治療の助成に係る新規認定件数 ○○件（5 か年度の累計）

■不妊治療助成により出産に至った件数 ○○件（5 か年度の累計）

（取り組み内容）

① 不妊治療費助成事業（先行型）

不妊治療を受けている夫婦の不妊治療費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図る。

② 子ども医療費助成事業（先行型）

子ども保健対策の充実及び経済的負担の軽減を図り、子どもの保健向上及び子育て支援体制の充実に寄与するため、香取市に住民登録のある 0 歳から高校生世代（18 歳到達後の最初の 3 月 31 日）までの子どもの保険医療費の全部又は一部を助成する。

③ ひとり親家庭医療費等助成事業

ひとり親家庭の福祉の増進を図るため、18 歳の年度末までの児童を持つ、ひとり親家庭等の親や養育者及びその児童に対し、入院、通院及び調剤等、保険医療給付の自己負担額の一部を助成する。

◎出生率・婚姻率の向上

《平成 31 年度評価指標》

■婚活事業による成婚数 ○○件（5 か年度の累計）

■（新）しあわせサポーター登録者数 平成 31 年度 ○○人

（取り組み内容）

① 子育て創生事業（先行型）

婚姻率・出生率を増加させ人口増を図るため、結婚に意欲のある独身者（男性は原則として市内在住、在勤）に対し、出会いの場となる様々なイベントの開催や結婚に向けてのセミナー等を開催し、独身者の縁結びを支援する。

② しあわせサポーター事業

年頃の相性の良さそうな男女を引き合わせ幸せへと強く背中を押す「しあわせサポーター」を設置・育成することで婚姻率・出生率の上昇を図ります。

◎地域における子育て支援体制の充実

《平成 31 年度評価指標》

■地域子育て支援センターの利用者数○○人（平成 25 年度の実績 9,588 人）

■放課後児童クラブ数 ○施設（平成 25 年度の実績 10 施設）

■ファミリーサポートセンター会員登録数 ○○人（平成 25 年度の実績 26 人）

（取り組み内容）

①放課後児童クラブ施設整備事業

小学校に在籍する児童が、放課後や学校休業日等に家庭において適切な保護を受けられない場合、児童の健全な育成と事故防止を図るための施設として、地域の実情と必要性に応じて、放課後児童クラブを整備する。

放課後や学校休業日等に、家庭において適切な保護を受けられない小学校に在籍する児童の健全な育成と事故防止を図るため、13 か所の放課後児童クラブを運営する。

② ファミリーサポートセンター事業

地域における市民相互の子育て支援を通じて地域コミュニティの活性化を図るため、乳幼児や小学生等の子育て中の保護者を会員として、子どもの預かり等の援助を受けることを希望する方と、援助を行うことを希望する方との相互に助け合う活動に関する連絡、調整を行う。

③ 一時預かり事業

保護者の急な用事や短期の就労等により、家庭において一時的に保育を受けることが困難となった乳幼児の保育を一時的に保育所で実施する。

④ 家庭児童相談室設置運営事業

家庭児童相談室に家庭相談員 2 名を配置し、児童及び保護者に対して、適正な養育、家庭児童に関する相談や訪問指導を行う。

⑤ 地域子育て支援センター事業

地域の子育て支援センターを子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点として、子育て支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを促進するため、保育所に入所していない就学前の乳幼児とその保護者に対し、子育てに関する相談全般や遊びなどの指導を実施する。

⑥ 子ども・子育て支援事業

平成 27 年 4 月から香取市子ども・子育て支援事業計画が施行され、この計画に基づき、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていきます。毎年この計画を香取市子ども・子育て会議により評価検証を行う。

⑦ ひとり親家庭への支援母子・父子福祉推進事業

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子及び父子並びに寡婦の自立を支援するため、児童母子相談室に母子・父子自立支援員 1 名を配置し、ひとり親家庭等の自立支援や相談を実施する。また、母子福祉協力員による訪問活動等を実施する。

⑧ 幼保一元化施設整備事業

幼児期における子ども一人ひとりの育ちを支援する質の高い教育・保育を一体的に提供するため、保育所と幼稚園の統合整備による幼保連携型認定こども園への移行を検討し、保護者の就労の有無に関わらず地域の子供や家庭が利用できる施設として育ちと学びの連続性を踏まえた教育を実施する。

◎ 保健機能の充実

《平成 31 年度評価指標》

■健康医療電話相談サービスの利用件数 ○人（平成 26 年度の実績 ○人）

(取り組み内容)

① 健康医療電話相談サービス事業（先行型）

市民の健康医療や介護・子育てに関する不安等を軽減し、市の重点プロジェクトでもある「げんき創造プロジェクト」の推進を図るため、医師・保健師・看護師・臨床心理士等による健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスの相談を通話料・相談料無料で24時間年中無休で対応する電話相談サービスを実施する。

② こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、保護者から不安や悩みを聞くとともに、子育て支援に関する情報提供等行う。併せて母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行う。

③ ママパパ教室事業

初妊婦、ハイリスク妊婦と夫等を対象に妊娠・出産・育児に関する知識の普及、父親の役割についてなど助産師、保健師等により集団教育を実施。

④ 発達相談事業

乳幼児健康診査等で言語・情緒・運動・発達の面で支援が必要な乳幼児と保護者に対して相談・指導（個別・集団）を実施。

⑤ 訪問指導事業

出産、育児に関する不安を和らげるために保健指導等が必要と認められる者を対象に保健師による訪問指導を実施し、本人及び家族に健康相談、情報提供等必要な保健指導を行う。

(4) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を促進

《基本的方向》

○ 市民協働による地域づくり

市民協働指針を具現化するための新しい自治システムと協働の形の一つである住民自治協議会を設立するとともに、様々な市民活動団体の活動の場や機会を創出することにより、地域の課題やニーズに応じて市民が主体となって積極的に地域づくりを進めているまちを目指します。

○ 公共交通の利便性の向上

市民の身近な交通手段である路線バスの運行維持を図るとともに、地域住民の生活スタイルや生活圏を考慮しながら循環バスなどの利便性向上を図り、あわせて新たな運行形態について検討し、地域に密着した公共交通の確保を目指します。

◎市民協働による地域づくり

《平成 31 年度評価指標》

■住民自治協議会の設立累計件数 協議会（平成 26 年度までの累計 19 協議会）

（取り組み内容）

① 市民協働まちづくり活動事業（先行型）

香取市市民協働指針「かとり風」で示した市民協働によるまちづくりを具体的に進めるため、概ね小学校区ごとに市民、事業所、各種団体、市職員によって「住民自治協議会」を設立し、地域の課題解決と活性化を行政と連携しつつ地域主体で行う住民自治の新たな仕組みを構築する。

各住民自治協議会は、各地域の良さや課題を見つけながらまちづくり計画を策定し、当該計画に基づいて実施される事業に対し、その活動を人的・財政的両面から支援する。

② 地域振興事業

地域の活性化につなげるために市民活動団体の活動の継続性を高めるため、市内で活動しているテーマ型市民活動団体等に対し、市民が地域の課題解決や活性化のために行う地域の特色を生かした事業に対して上限 20 万円（補助率 8/10～9/10）の補助金を交付する。

◎公共交通の利便性の向上

《平成 31 年度評価指標》

■循環バスの利用者数 ○○人（平成 25 年度の実績 54,933 人）

（取り組み内容）

① バス路線運行事業（先行型）

市民の身近な交通手段であるバス路線の運行を維持し、地域住民等の交通手段を確保するため、廃止路線代替バスなどへの運行費を補助する。

また、福田地区については、地元住民団体「福田線バス路線をまもる会」が廃止路線バスを引き継いで、運行を維持していることから、安定的な運行を確保するため、他の廃止路線代替バスに準じ、運行委託経費等の一部を補助する。

② 循環バスの利便性の向上及び乗合タクシー運行事業

交通空白・交通不便を解消・縮小し、地域住民等の交通手段を確保するため、循環バスの利便性の向上を図るとともに、新たな公共交通運行形態として、乗合タクシーの運行を実施する。

③（新）バスターミナル整備事業

※人口減少対策事業から掲載

バスターミナルと駐車場を整備し、市内に居住しながら、通勤・通学ができるよう東京方面への高速バスの増便と成田空港までのアクセスを強化する。

・通勤・通学定期の導入及び補助の検討

◎再生可能エネルギーの利活用

《平成 31 年度評価指標》

■再生可能エネルギーの導入量 ○○○○kw（平成 25 年度の実績 1,408kw）

（取り組み内容）

①太陽光発電施設整備事業

地球温暖化防止対策の推進、未利用となっている市有地の有効活用、また財政力の強化、収益の市民還元などを推進するため、未利用市有地等を利用し、太陽光発電施設の整備を行います（大戸、伊地山、大崎、附洲新田）。

◎公共施設ストックマネジメントの強化

《平成 31 年度評価指標》

■○○・・・・・・

(取り組み内容)

① 公共施設等総合管理計画策定事業

公共施設の効果的な利用促進を図り、各施設の設置目的に即した利用者増加施策を幅広く展開するため、また、既存施設の統廃合をはじめ、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図り、効率的な施設運営を目指すため、施設マネジメントの導入に取り組む。

② 佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業【再掲】

商業機能や公共・公益施設等の生活サービス機能の集積した市街地の活性化を一体的に推し進め、市内・市外から人を集め、中心市街地に賑わいを創出するとともに、高齢者から子ども達までが、まちなかに安心して楽しく住み続けることのできるまちを実現することを目的とし、新たに複合的な施設を整備する。

○ 教育環境の整備

《平成 31 年度評価指標》

- 小学校 120 人未満の校数 ○校（平成 26 年度の実績 ○校）
- 学校単学級化の校数 ○校（平成 26 年度の実績 ○校）
- 統合後の満足度（アンケートで良かったの割合） %（平成〇〇年度の実績 %）

(取り組み内容)

① 学校等適正配置計画の策定・推進

教育環境の不均衡の是正や教育環境の向上を図り、少子化に伴う小中学校の小規模化に対処するため、計画に基づき市民協働で学校再編を行う。また、統合する学校に対し、円滑に統合が行われるよう支援を行う。統合に伴い必要となるスクールバスの運行計画やバス乗降所の整備、学校施設の整備を行う。

② スクールバス運行事業

小中学校の統合再編に伴い生じる児童生徒の通学手段を確保するため、学校統合再編により、廃校となった側の学区内に居住する児童・生徒（通学距離が小学校においては 4 km、中学校においては 6 km を超える遠距離通学者）に対し、スクールバスを運行する。（スクールバス運行校：3 校 所有台数：6 台）

◎交通安全施設及び防犯設備の整備とボランティアとの連携の推進（追加）

《平成 31 年度評価指標》

- 人口 1,000 人当たりの交通事故発生件数〇〇件（平成 25 年度の実績 3,251 件）
- 人口 1,000 人当たりの刑法犯認知件数〇〇件（平成 25 年度の実績 9.150 件）

（取り組み内容）

① 防犯対策事業

カーブミラー等の交通安全施設の設置や防犯活動への支援により、交通事故及び刑法犯罪が減少し、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

◎地域防災体制・危機管理体制の整備

《平成 31 年度評価指標》

- 自主防災組織の組織率 〇〇%（平成 25 年度の実績 36%）

（取り組み内容）

①地域防災対策事業

自助、共助、公助を基本した、ハード・ソフト両面からの防災対策の充実を図るため、災害対策施設の整備、備蓄物資・資機材の計画的な購入（AED の地域防災拠点公共施設への配備、防災用品購入等）、自主防災組織の積極的な育成、防災訓練を実施する。

◎近隣自治体等との連携

《平成 31 年度評価指標》

- （新）平成 31 年度の連携事業数（平成 25 年度の実績 〇〇）

（取り組み内容）

①広域交流・連携事業

今後の人口減少・少子高齢化の進行に対応し、持続可能な圏域づくりを進めるため、共通の課題や目的を持つ近隣自治体との連携により、成田国際空港都市づくりや利根川下流地域の振興などの広域プロジェクト活動を推進します。

7 総合戦略の推進にあたって

(1) 全庁体制による総合的・横断的な施策の推進

香取市では、国のまち・ひと・しごと創生法の制定に対応し、人口問題対策を軸とする施策の全庁的推進を図るため、「香取市まち・ひと・しごと創生本部」を設置しています。この全庁的な本部体制のもと、既存の行政分野にとらわれることなく、実効性の観点から総合的・横断的な施策の推進を図ります。

(2) 国・県との連携の推進と制度の積極的な活用

総合戦略の目標を実現するため、千葉県総合戦略と継続的かつ綿密な連携をとるとともに、効率的かつ円滑な事業の推進を図ってまいります。

(3) 施策の検証及び戦略の見直しによる総合戦略の推進

市民、産業界、行政機関、教育機関、金融機関等の外部有識者で構成する「香取市まち・ひと・しごと創生推進会議」（30人程度）を設置し、総合戦略策定における意見の聴取及び内容の審議を行うとともに、総合戦略を推進するために必要な検証及び戦略の見直し提言等を行います。